

資料集

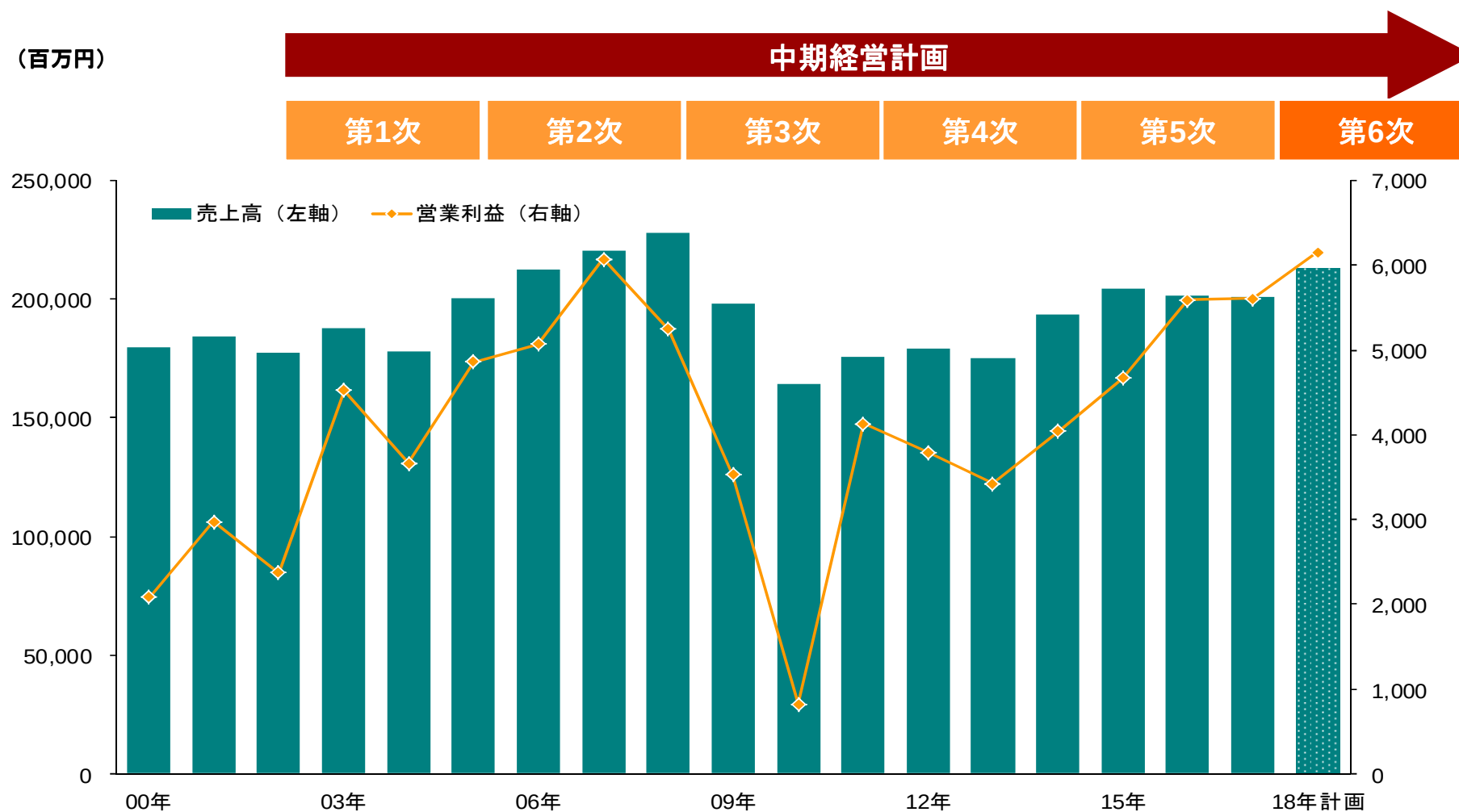
2018年3月期第2四半期 決算説明会

2017年12月5日



I .財務データ

業績推移



事業・顧客状況（売上高構成）

事業状況

	航空	海上	倉庫・ 他	合計
日本 (単体)	20%	42%	38%	100%
米州	35%	25%	40%	100%
欧州	23%	25%	52%	100%
アジア	27%	36%	37%	100%
中国	37%	36%	27%	100%

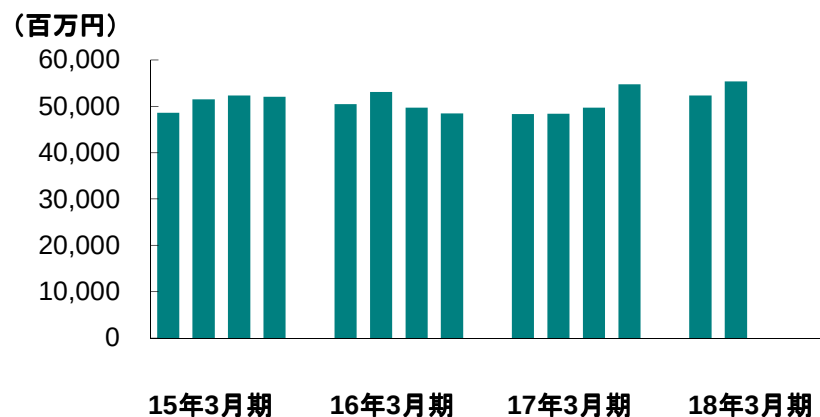
顧客状況

	自動車	電機 電子	一般・ 他	合計
日本 (単体)	19%	10%	71%	100%
米州	41%	4%	55%	100%
欧州	34%	23%	43%	100%
アジア	56%	5%	39%	100%
中国	18%	12%	70%	100%

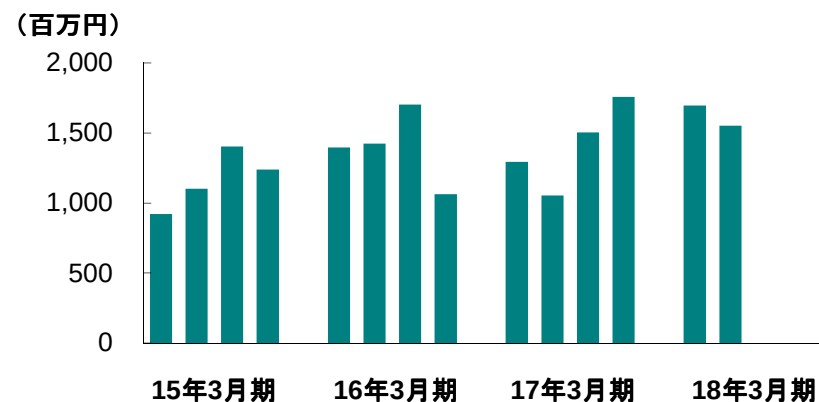
※売上高構成比は、2017年9月の社内集計値

四半期ごとの実績推移(連結)

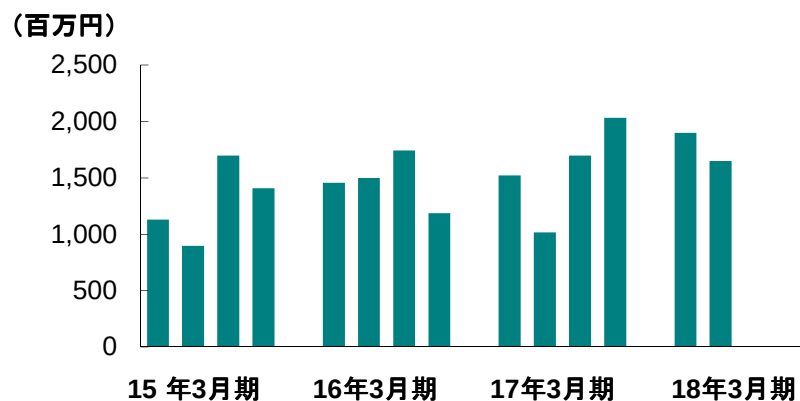
売上高



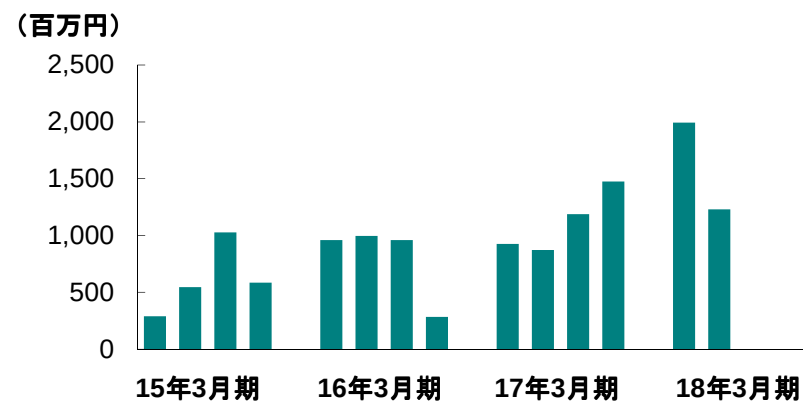
営業利益



経常利益

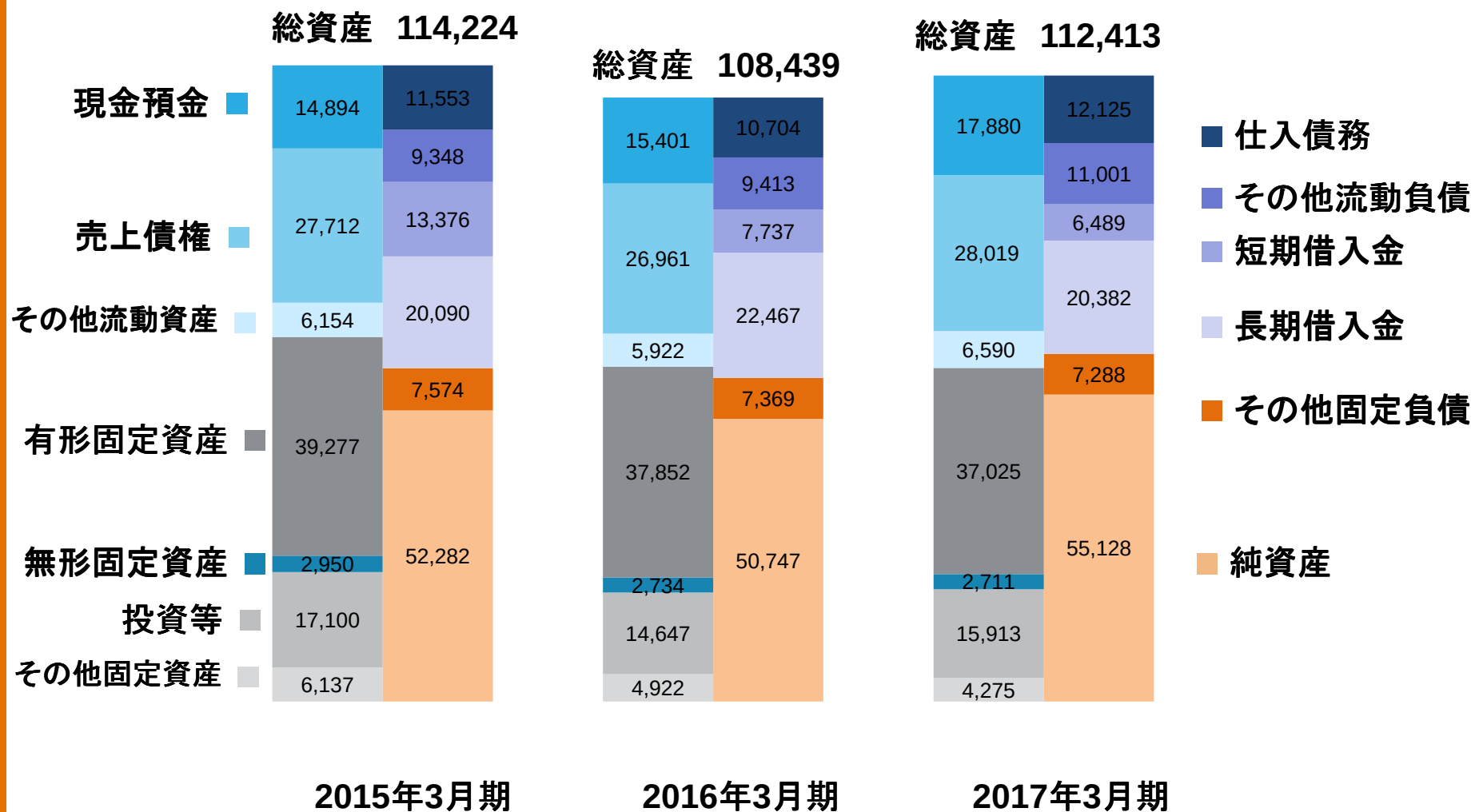


純利益



2017年3月期 貸借対照表

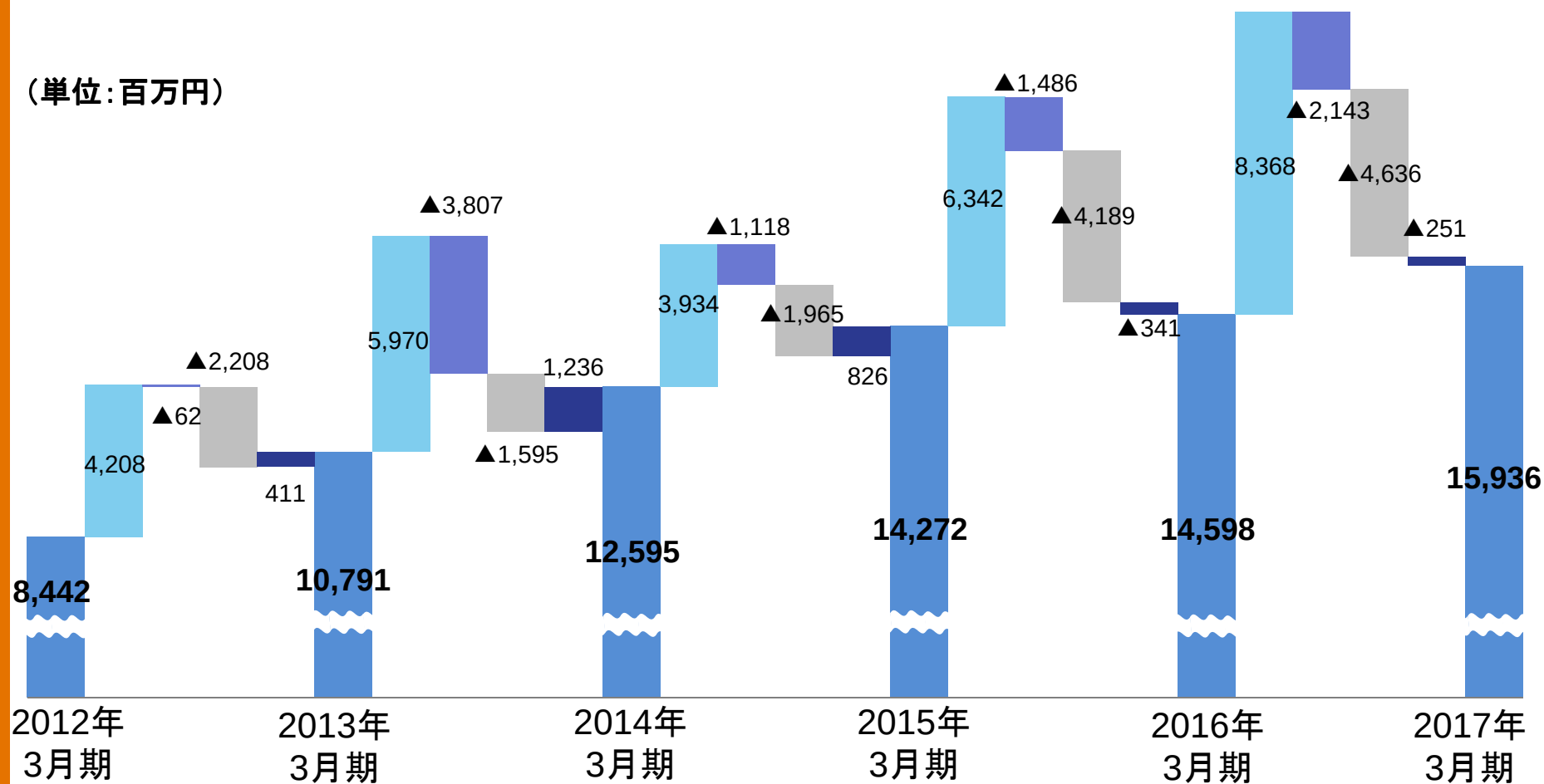
(単位: 百万円)



2017年3月期 連結キャッシュフローの状況

■ 現金及び現金同等物期末残高
■ 営業キャッシュフロー ■ 投資キャッシュフロー ■ 財務
■ キャッシュフロー ■ 換算差額、他

(単位: 百万円)

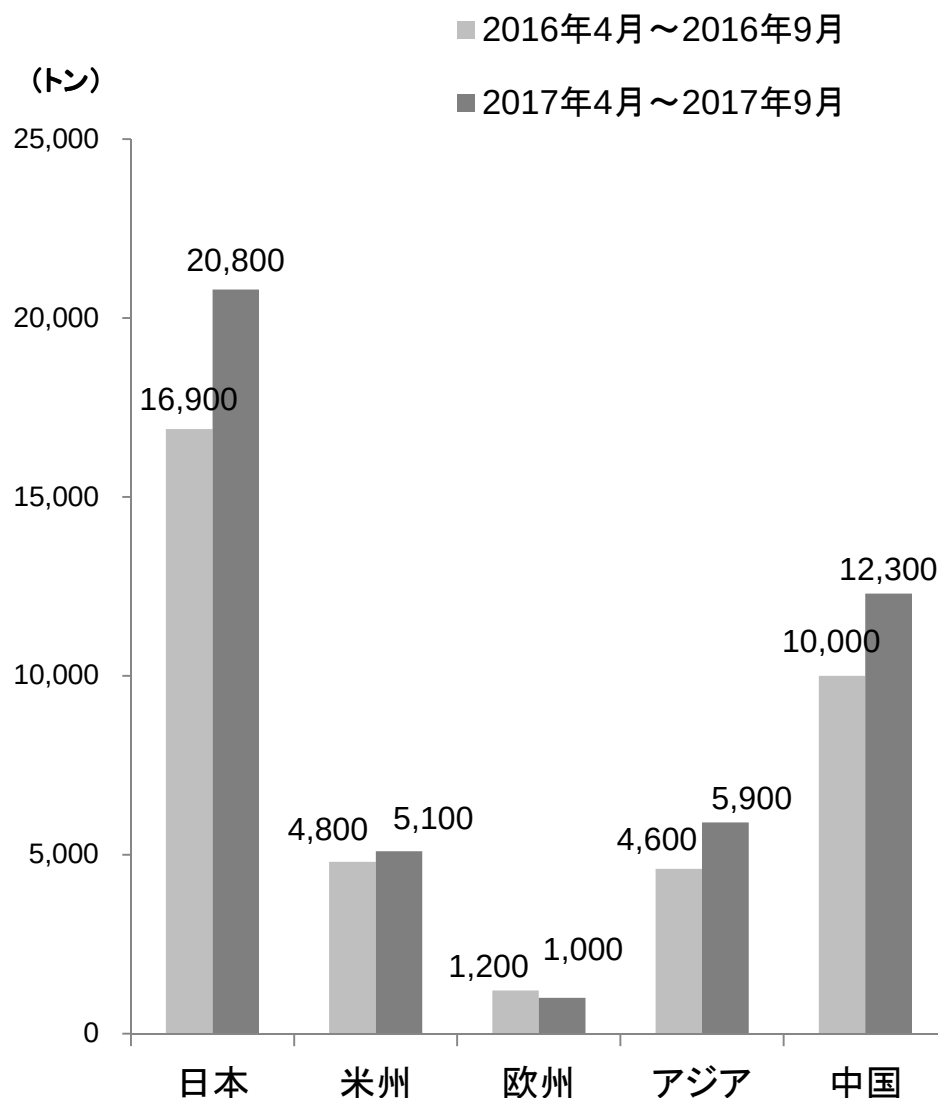


Ⅱ.物量

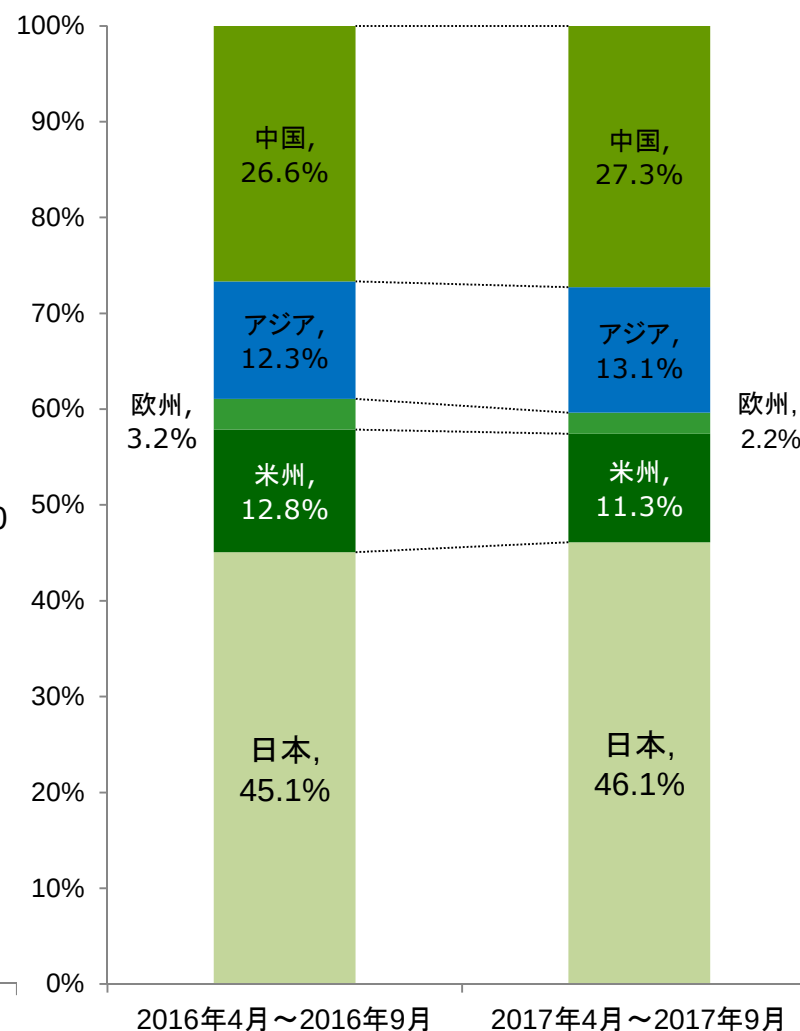
航空貨物 2018年3月期第2四半期 地域別輸出取扱物量

地 域	2016年4月～2016年9月		2017年4月～2017年9月		
	実績(トン)	構成比	実績(トン)	前期比	構成比
日本	16,900	45.1%	20,800	23.1%	46.1%
米州	4,800	12.8%	5,100	6.3%	11.3%
欧州	1,200	3.2%	1,000	△16.7%	2.2%
アジア	4,600	12.3%	5,900	28.3%	13.1%
中国	10,000	26.6%	12,300	23.0%	27.3%
合計	37,500	100.0%	45,100	20.3%	100.0%

航空貨物 地域別輸出取扱物量

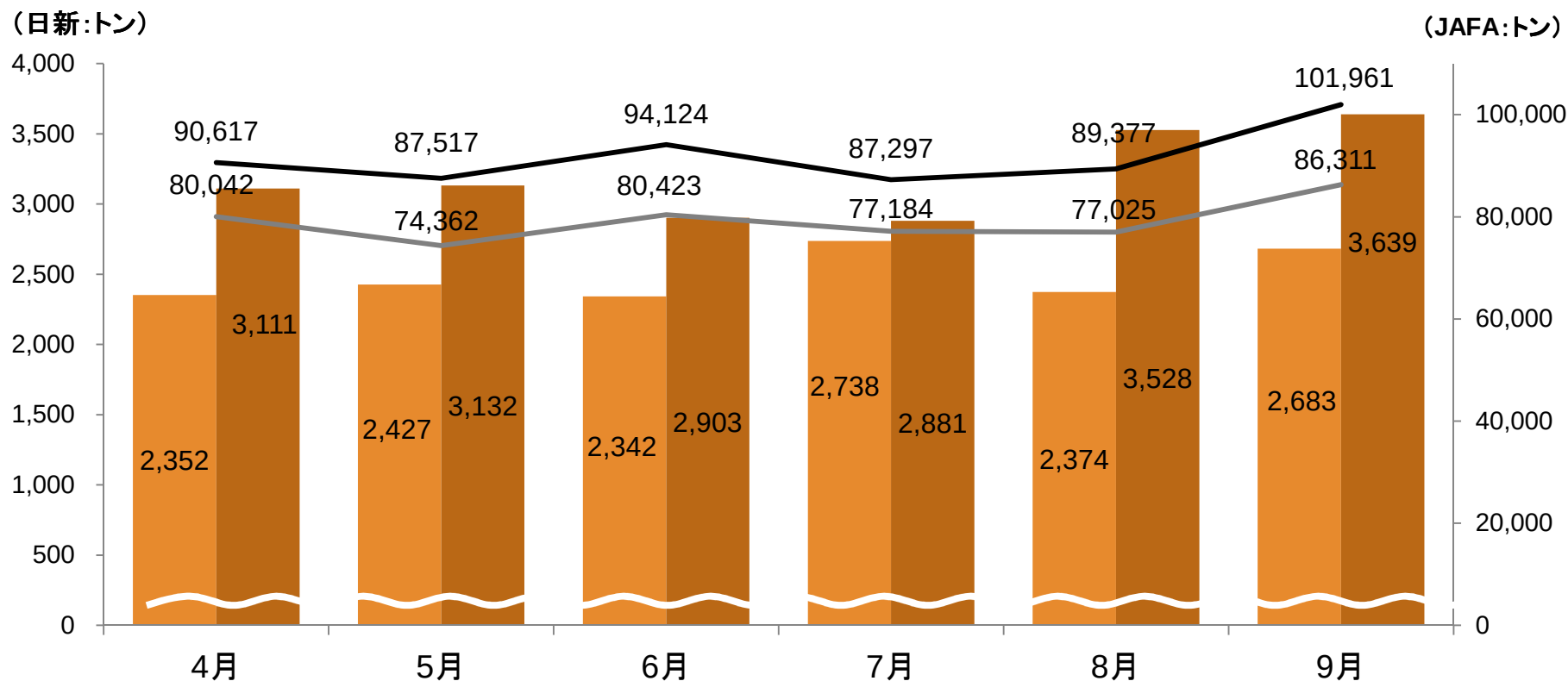


地域構成比 推移



航空貨物 日本発輸出混載取扱物量 月別推移

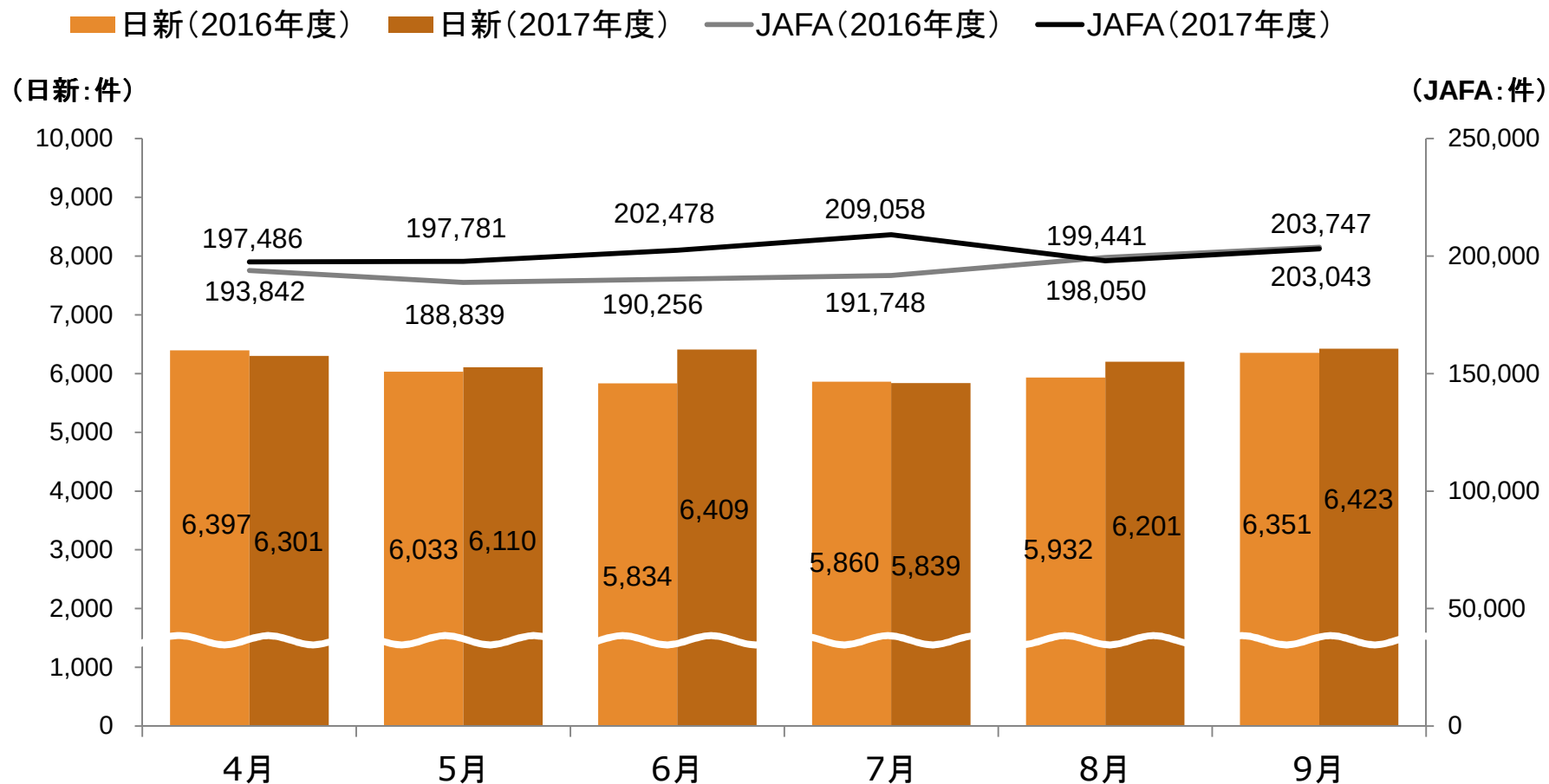
■ 日新(2016年度) ■ 日新(2017年度) — JAJA(2016年度) — JAJA(2017年度)



日本発 混載貨物 業界シェア	2016年度 (2016年4月~2016年9月)	2017年度 (2017年4月~2017年9月)
	3.14%	3.48%

※ 業界シェアは当社推計

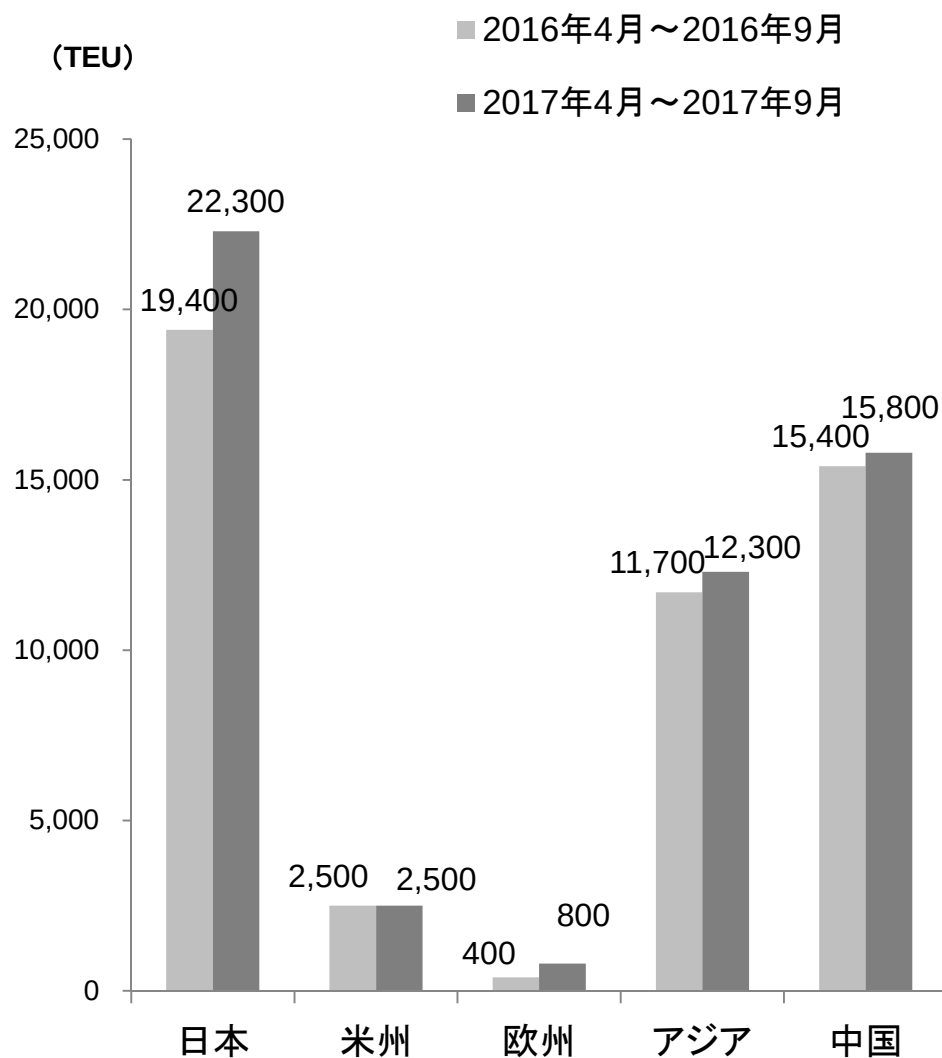
航空貨物 日本着輸入取扱件数 月別推移



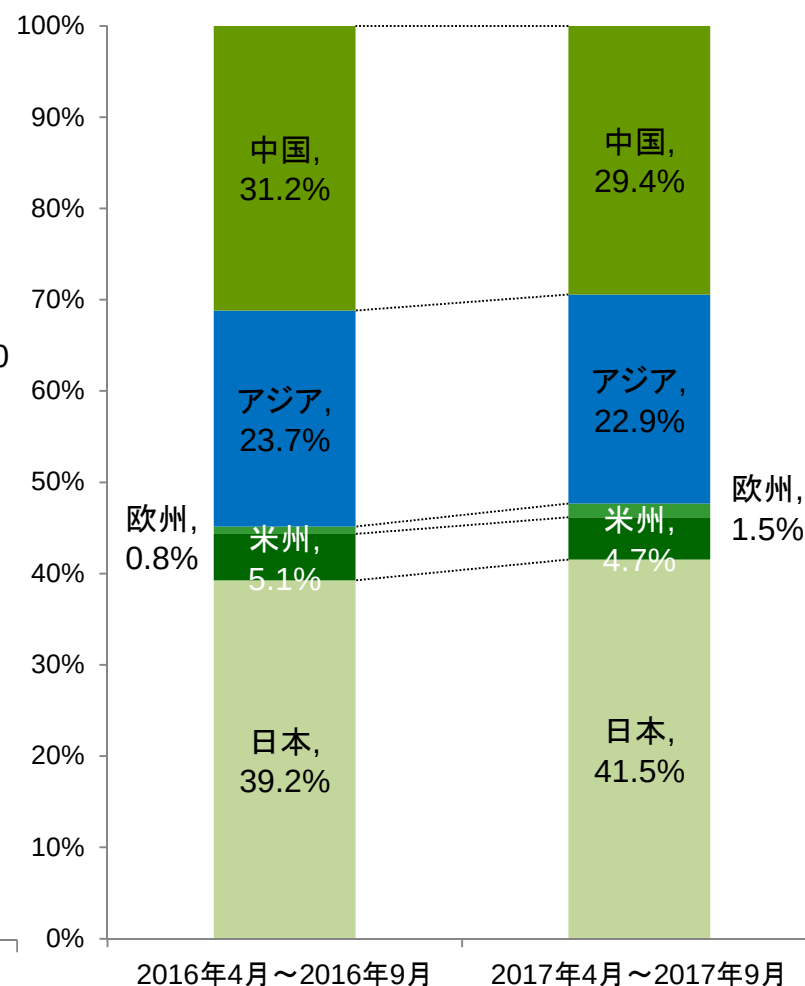
日本着 輸入貨物 業界シェア	2016年度 (2016年4月~2016年9月)	2017年度 (2017年4月~2017年9月)
	3.12%	3.09%

※ 業界シェアは当社推計

NVOCC(FCL) 地域別輸出取扱物量



地域構成比 推移



※ TEU (Twenty feet Equivalent Unit): 20フィートコンテナ換算個数

Ⅲ.第6次中期経営計画

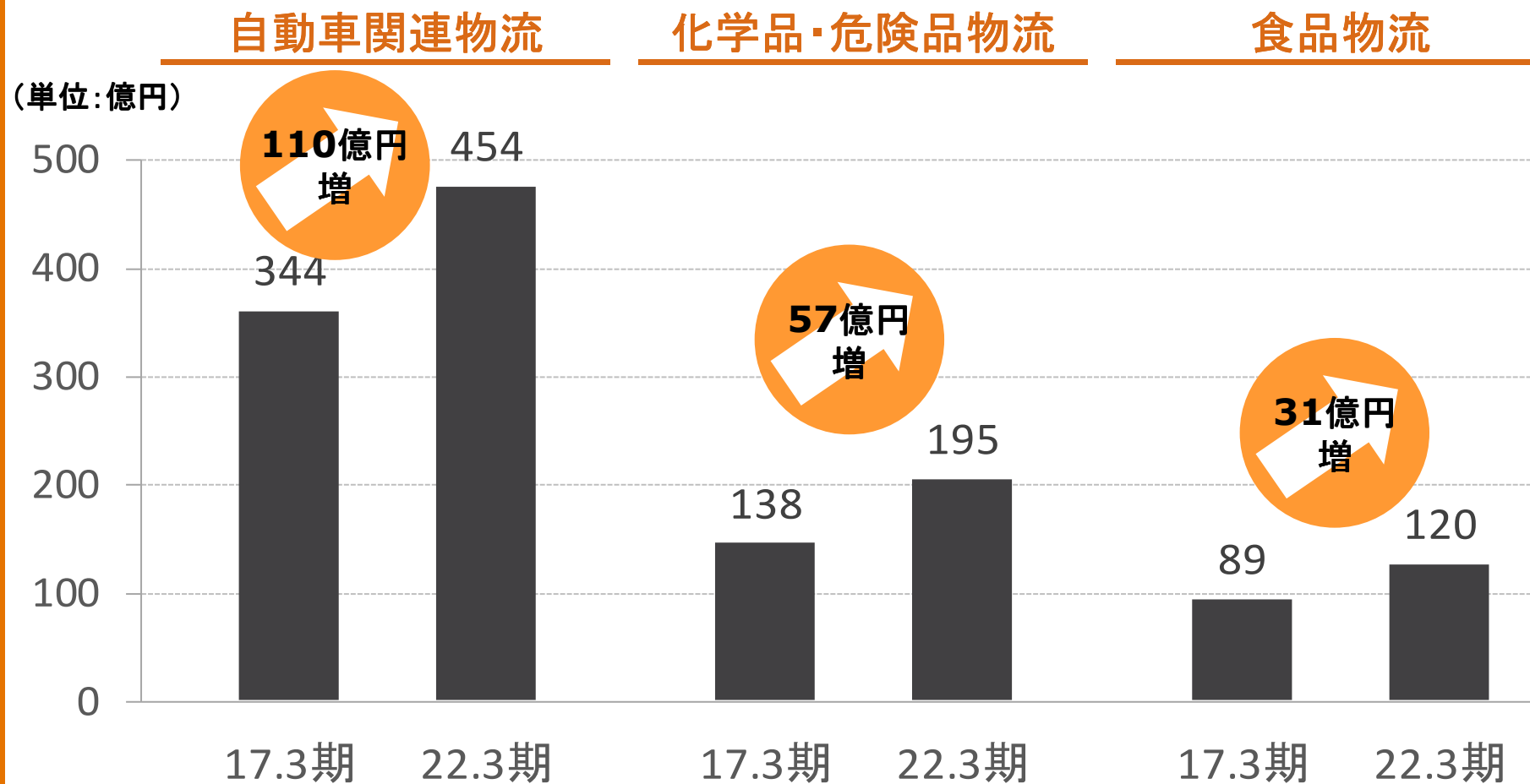
第6次中期経営計画の目標数値

- 売上増と利益率の改善により、中計最終年度に営業利益3割増の74億円の達成を目指す。

		2017年3月期 (実績)	2022年3月期 (目標)
売上高	億円	2,012	2,300
営業利益	億円	56	74
経常利益	億円	62	77
当期純利益	億円	44	53
営業利益率	%	2.8%	3.2%
自己資本利益率 (ROE)	%	8.8%	8.0%程度

重点分野別の売上高目標値

- 自動車に加え、化学・危険品、食品分野を重点分野と指定。利益率UPの柱に据える。



(注) 数値は、社内集計値 (参考値)

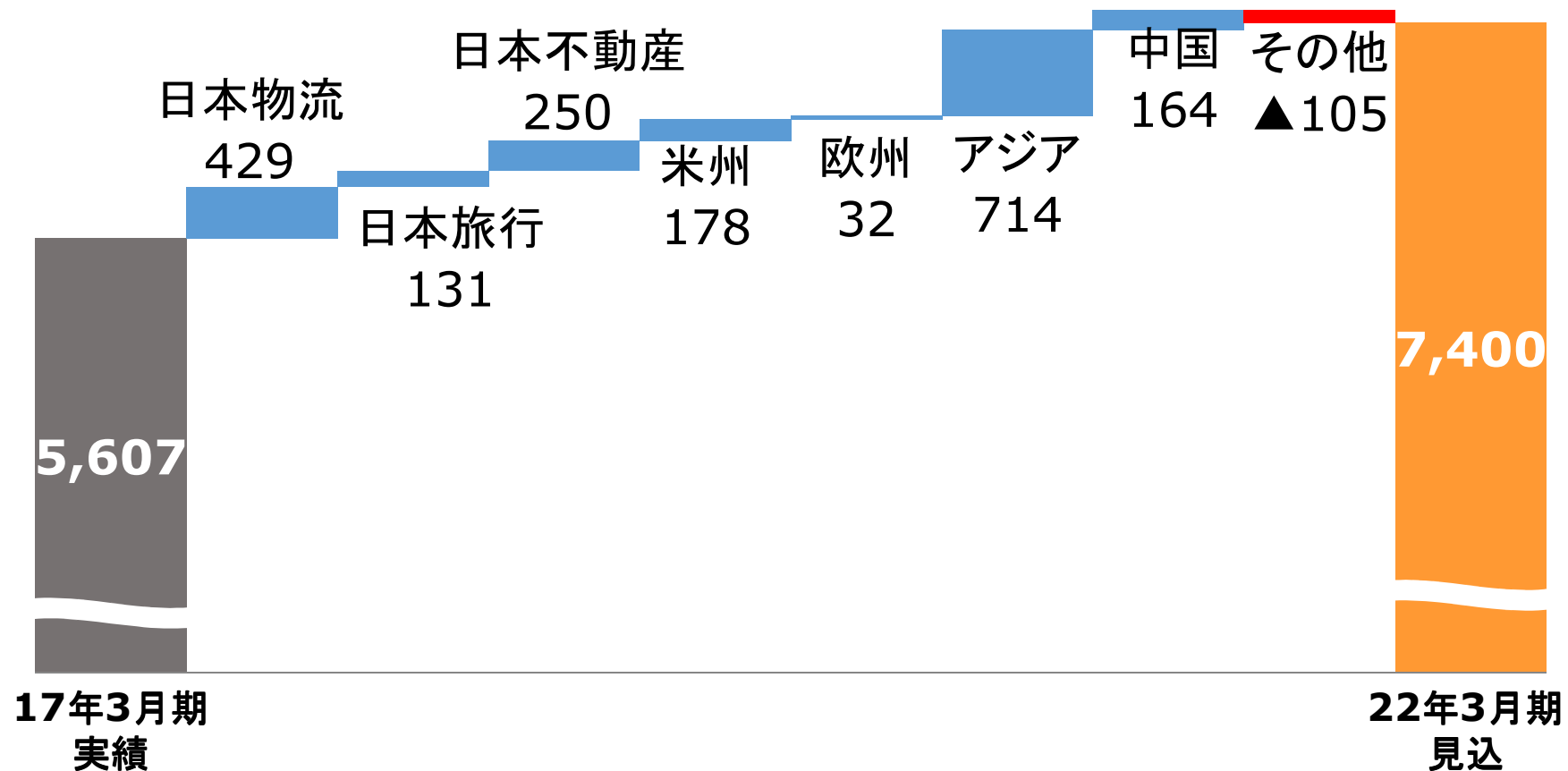
重点3分野のエリア戦略の俯瞰図

	自動車関連物流	化学品・危険品物流	食品物流
日本	新規顧客開拓	国内施設の拡充	施設の拡充 高付加価値食品の 輸出入
米州	倉庫業務の拡大	危険品事業への 参入	顧客の拡大 拠点の拡充
欧州	非日系部品メーカーの 新規開拓	—	食材の輸出入拡大
アジア	域内物流網の拡充	多様なメニューの 提供による 顧客の開拓	食品物流網の構築
中国	グローバル アカウント各社への 重点営業	—	食品物流網の構築

第6次中期経営計画5年での営業利益推移

- 海外での稼ぐ力を強化。収益の拡大とともに、次世代への課題対応を図る。

単位: 百万円



※「その他」は、連結処理等

※ 数値は、各地域の業績を分かりやすく説明するための社内集計値

アジアにおける取り組み



自動車 関連物流

- 営業拠点、倉庫拠点の拡充
 - ・タイ 新倉庫の開設
 - ・マレーシア 第1倉庫再建
- グローバルアカウントマネジメントの推進

化学品・ 危険品物流

- 多様なメニューの提供による顧客の開拓
(IPシステム、構内作業、鉄道ラウンドユース
ISOタンクコンテナ輸送、域内物流など)

食品物流、 その他

- 倉庫拠点の能力増強・拡充
(シンガポール・ベトナム・インドネシア)
- ベトナム、フィリピンにおける電機関連貨物の拡大

IV.日新について

会社名	株式会社日新 東証1部 銘柄コード9066
代表者	代表取締役会長 筒井 博、代表取締役社長 筒井 雅洋
本社所在地	〒231-8477 横浜市中区尾上町6丁目81番地
設立	1938年12月14日
資本金	6,097百万円（2017年3月末現在）
主要事業	物流事業、旅行事業、不動産事業
従業員数	6,095名（連結）1,517名（単体）（2017年3月末現在）
海外拠点数	147（2017年3月末現在）

海外での種まき ～ アジアでの事業基盤強化 ～

大メコン圏広域物流サービス網の構築推進

- 2008年 1月 ベトナムのハノイに鉄道輸送を専業とする合併会社を設立し、自動車輸送用「カーワゴン」を開発
(カーワゴン20両保有、ハノイ～ホーチミン間で週5往復)
- 2011年11月 タイにおける低温輸送サービスの新会社設立
- 2012年 2月 ラオスに新会社を設立し、ハノイ・バンコク間を積み替えなしで結ぶトラック輸送サービス「メコン・ランド・ブリッジ(MLB)」を開始
- 2012年11月 ベトナムにおいてコンテナ専用列車(ブロックトレイン)の当社グループ単独仕立てによる運行を開始(21両編成、週3往復)
- 2013年 5月 定期混載輸送(CFS)開始
- 2013年 9月 横浜発シンガポール&バンコク向け冷凍混載サービス開始
- 2014年 4月 MLBの新ルート開拓
(ラオス・ビエンチャン～カンボジア・プノンペン間)
- 2015年 2月 カンボジア駐在員事務所開設
- 2016年 2月 ラオス日新 ビエンチャン事務所開設
- 2016年 3月 ラオスでの共同集荷・共同輸送システム導入に向け実証実験



ベトナムでのカーワゴン輸送サービス



タイでの低温輸送サービス

国内事業の強化



＜新ターミナル運営開始＞

2016年12月、得意先船社より新たに堺泉北港での船舶代理店業務及びコンテナターミナル業務を受注し、「助松ターミナル営業所」として運営を開始

＜ISOタンクオペレータとしての業務開始＞

2014年11月、世界的な液体・ガス化学品物流のリーディングカンパニーであるオランダ企業と総代理店契約を締結し、ISOタンクコンテナの国際一貫輸送および輸出入業務を開始



医薬品物流の強化

<医薬品製造業の許可を取得>

2014年4月、弊社南港航空貨物センターにおいて、薬事法に基づく医薬品製造業（包装・表示・保管）の許可を取得、今後国内各地への展開を推進

医薬品の包装・表示・保管・国内配送サービスを提供中



新しい物流サービスの開発

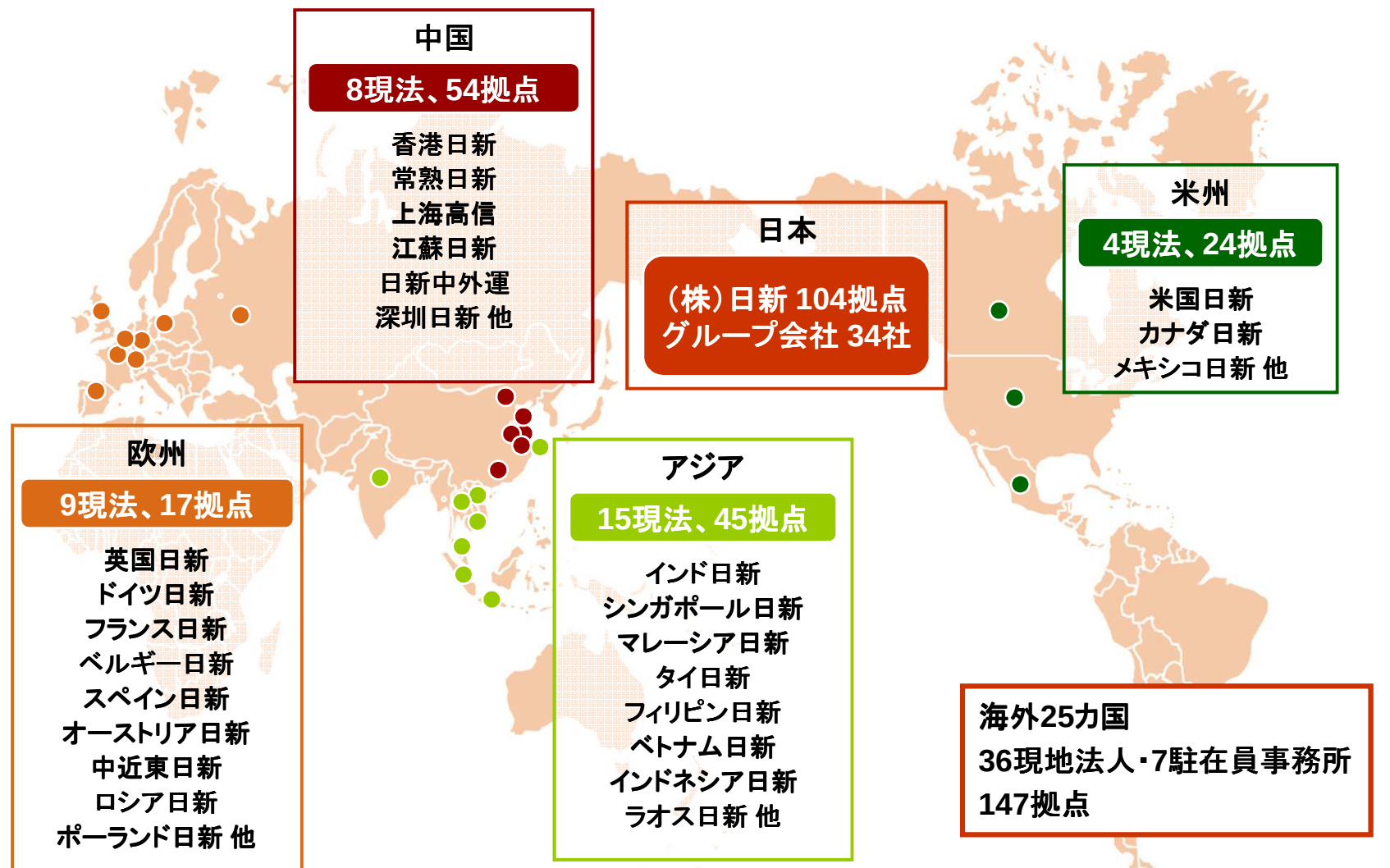
<物流容器の調達・管理・運用の提案>

2017年7月、物流容器を切り口とした新しい物流サービス「ハコラボ」の提供を開始。

リターナブル容器在庫の見える化を実現し、容器の紛失・滞留を減らし、容器コストの低減が可能に。



強固な海外拠点網



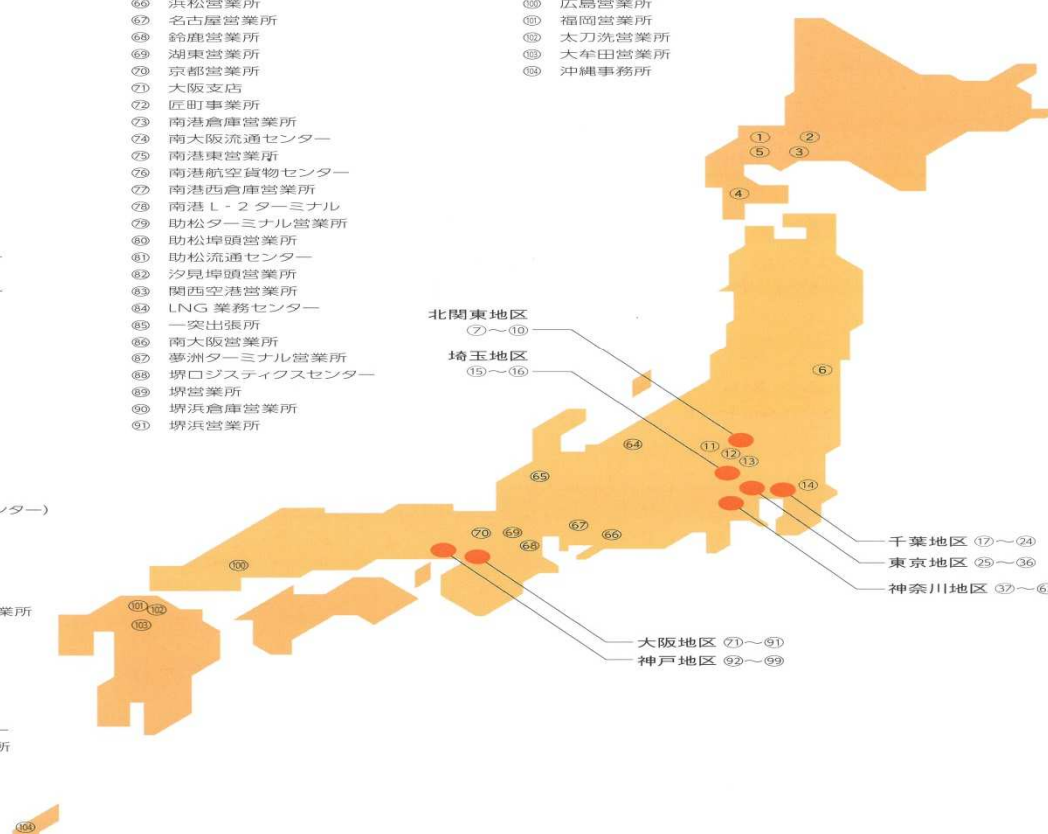
(2017年3月31日現在)

● 全国104拠点のネットワークで、お客様にサービスを提供します

- ① 札幌(北海道日新本社)
- ② 江別営業所(北海道日新)
- ③ 苫小牧営業所(北海道日新)
- ④ 函館(北新港運本社)
- ⑤ 新千歳空港営業所
- ⑥ 角田営業所
- ⑦ 北関東物流センター
- ⑧ 栃木営業所
- ⑨ 守谷倉庫営業所
- ⑩ 芳賀営業所
- ⑪ 高崎営業所
- ⑫ 太田営業所
- ⑬ 伊勢崎太田営業所
- ⑭ 茨城営業所
- ⑮ 埼玉ふじみ野営業所
- ⑯ 朝霞営業所
- ⑰ 千葉支店
- ⑱ 千葉倉庫営業所
- ⑲ 中央港営業所
- ⑳ 新港営業所
- ㉑ 習志野営業所
- ㉒ 市原営業所
- ㉓ 成田営業所
- ㉔ 成田ロジスティクスセンター
- ㉕ 東京事務所
- ㉖ 東京ロジスティクスセンター
- ㉗ 大井倉庫営業所
- ㉘ 東京冷蔵倉庫営業所
- ㉙ 青海倉庫営業所
- ㉚ 平和島倉庫営業所
- ㉛ 平和島営業所
- ㉜ 芝浦営業所
- ㉝ 十号埠頭営業所
- ㉞ 新木場営業所
- ㉟ 東東京営業所
- ㊱ 西東京営業所
- ㊲ 本社(横浜)
- ㊳ 出田町営業所
- ㊴ 本牧事業所(南本牧物流センター)
- ㊵ 本牧(東・西)倉庫営業所
- ㊶ 本牧 C 突営業所
- ㊷ 本牧冷蔵倉庫営業所
- ㊸ 南本牧ターミナル営業所
- ㊹ A 突営業所
- ㊺ 横浜航空貨物ターミナル営業所
- ㊻ 神奈川埠頭営業所
- ㊼ 万国橋駐車場
- ㊽ 山下北倉庫営業所
- ㊾ 大黒埠頭倉庫営業所
- ㊿ 大黒(L・2・L・5)営業所
- 1 大黒営業所
- 2 大黒車両ターミナルセンター
- 3 大黒マルチターミナル営業所
- 4 根岸事業所
- 5 新興倉庫営業所
- 6 鶴見営業所
- 7 横浜羽沢営業所

- 50 東扇島営業所
- 51 川崎営業所
- 52 塩浜事務所
- 53 川崎化成品油槽所
- 54 浮島事務所
- 55 厚木営業所
- 56 青海営業所
- 57 金沢営業所
- 58 浜松営業所
- 59 名古屋営業所
- 60 鈴鹿営業所
- 61 湖東営業所
- 62 京都営業所
- 63 大阪支店
- 64 匠町事業所
- 65 南港倉庫営業所
- 66 南大阪流通センター
- 67 南港東営業所
- 68 南港航空貨物センター
- 69 南港西倉庫営業所
- 70 南港 L・2 ターミナル
- 71 助松ターミナル営業所
- 72 助松埠頭営業所
- 73 助松流通センター
- 74 汐見埠頭営業所
- 75 関西空港営業所
- 76 LNG 業務センター
- 77 一突出張所
- 78 南大阪営業所
- 79 夢洲ターミナル営業所
- 80 堺ロジスティクスセンター
- 81 堺営業所
- 82 堺浜倉庫営業所
- 83 堺浜営業所

- 84 神戸支店
- 85 摩耶営業所
- 86 摩耶西営業所
- 87 摩耶冷蔵倉庫営業所
- 88 摩耶物流センター
- 89 PIL・13 営業所
- 90 PC・14 営業所
- 91 K・DIC 営業所
- 92 広島営業所
- 93 福岡営業所
- 94 太刀洗営業所
- 95 大牟田営業所
- 96 沖縄事務所



(2017年3月31日現在)